

# AWSインフラ構築スターターパック

手軽かつ確実にAWSのクラウド環境を手に入れませんか？

2022年12月版

ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社  
クラウドテクノロジーグループ

- スタートパックは、お客様のご要望の多い機能やサービスを随時追加していきます。

2021年9月8日	・サービスリリース
2021年12月24日	・死活監視と通知オプションにCPU、メモリ、HDDの使用率監視機能を追加。 また名称を監視と通知オプションへ変更 ※価格の変更は無し ・スタートレーニングをスライド13以降に追加
2022年5月30日	・Amazon RDS Microsoft SQL Serverの構築を追加
2022年7月4日	・スタートレーニングにRDSを追加、自習用コンテンツに変更
2022年9月1日	・ALB(Application Load Balancing)の構築とURL監視オプションを追加
2022年11月24日	・Amazon RDS for Oracleの構築を追加
2022年12月15日	・Amazon RDS for MySQL と PostgreSQLの構築を追加

# スターターパックとは？

- これからAWSによるクラウド化を始める方向けに基本となるインフラ環境を構築するサービスです。
- AWS専門のチームが設計フェーズからサポートいたします。
- ベースとなる基本セットにオプションのメニューを追加頂くことで柔軟なカスタマイズが可能です。



**AWSのクラウドを利用したいが、構築経験が無い  
ためAWSのインフラ環境を作成してほしい**



**専門家に相談しながらベストプラクティスに基づいた  
AWSのインフラ環境を作りたい**



**自社サービスの展開を検討しており、  
AWS環境を利用したサービスを作成したい**

## 基本セット

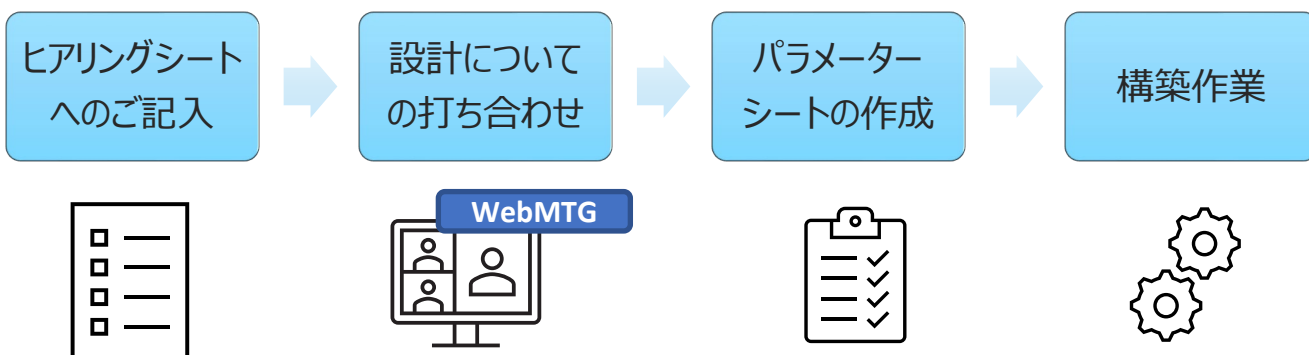


## オプション

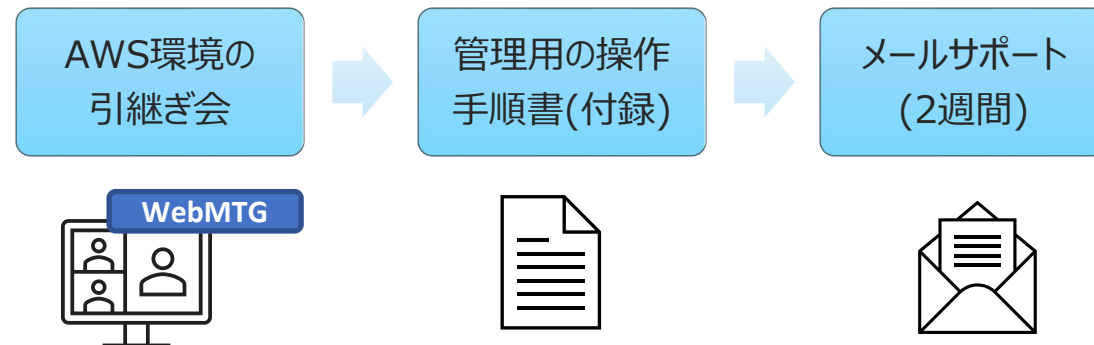


- AWSに馴染みの薄い方にも安心して導入頂けるようにお打ち合わせをベースに進めさせていただきます。
- 設計についてのお打ち合わせの前に、弊社指定のヒアリングシートにご記入頂く必要がございます。
- AWS環境の引継ぎ会では、構築環境の質疑応答や納品物のご紹介を致します。(1時間程度)
- メールサポートでは、弊社構築内容に対するご質問をAWS環境の引継ぎ会を実施後2週間まで対応させていただきます。(平日9時 – 17時)

## 設計・構築フェーズ



## 納品フェーズ



### AWSサポートセンター(技術サポート)のご利用で、構築後もずっと安心です！

AWSサポートセンターでは、電話、チャット、Eメールを使って、クラウドサポートエンジニアに24時間、年中無休で問い合わせることができます。

※「ビジネス」以上のサポートプランをご契約ください！



- 構築範囲は、ネットワーク、ストレージ、コンピュータ（IaaS範囲）です。  
※OS、ミドルウェア、アプリケーションはサービスの範囲外です。
- お客様のご要望に応じてAWS BackupサービスにてEC2のスナップショットを取得します。（基本セットメニューに含む）
- オプションメニューの「監視と通知オプション」では死活とリソース(CPU、メモリ、HDD)を監視し、異常の際は管理者様へメールにて通知します。

## EC2の設定範囲

構築範囲外

アプリケーション

ミドルウェア

OS

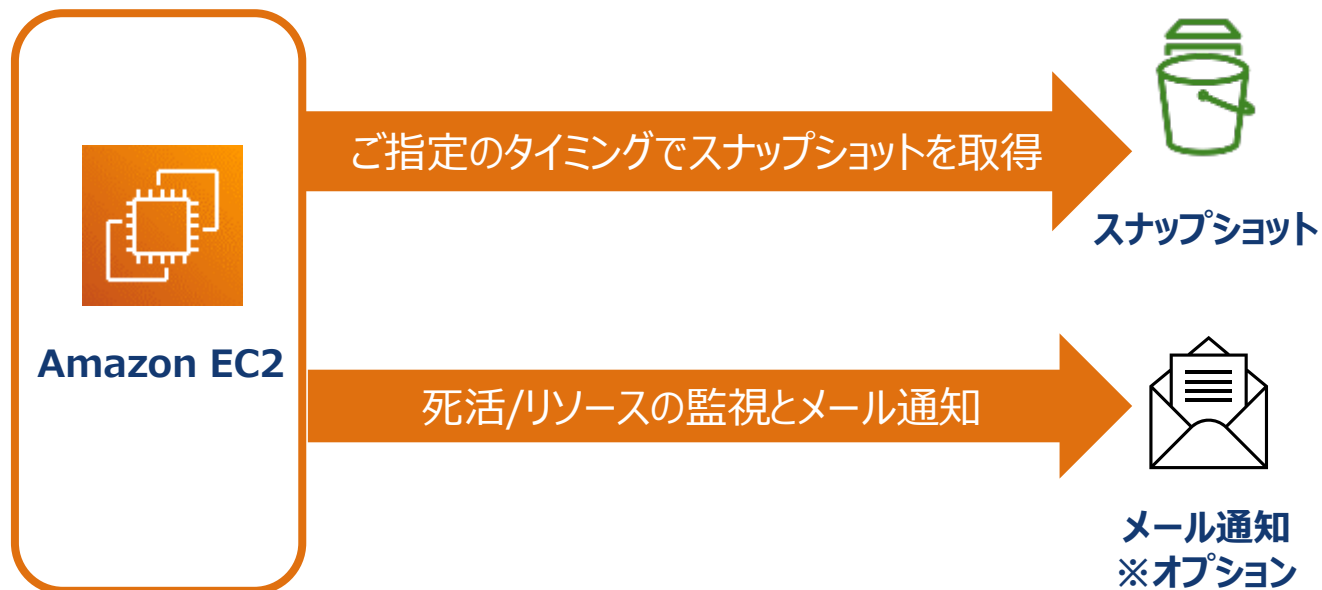
構築範囲

コンピュータ

ストレージ

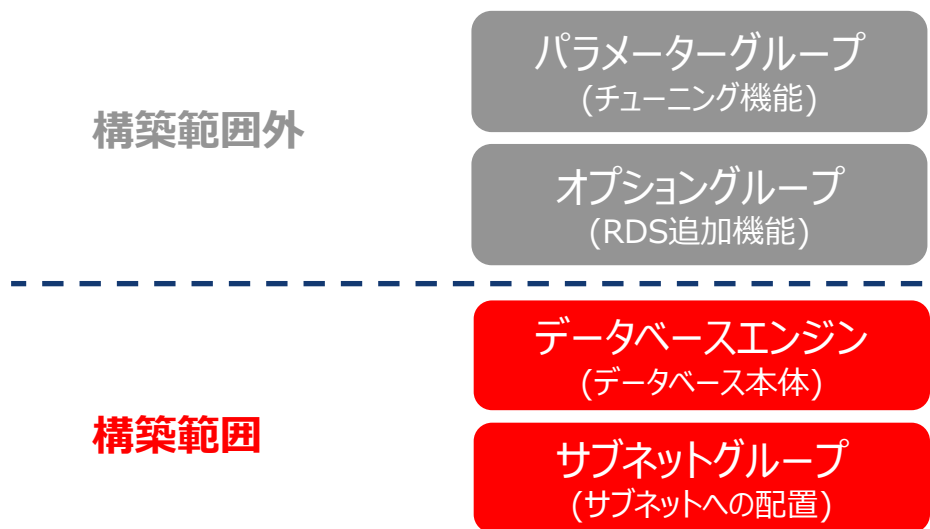
ネットワーク

## 仮想サーバのバックアップと死活監視

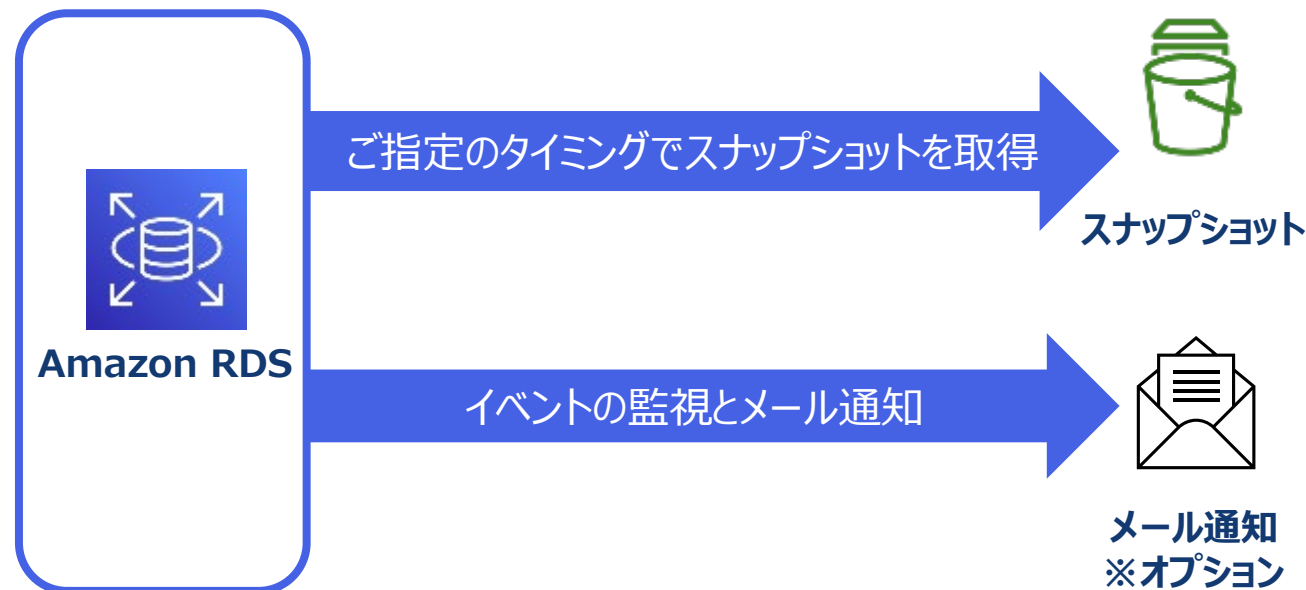


- 構築対象のデータベースは Microsoft SQL Server、Oracle、MySQL、PostgreSQLです。
- 弊社オリジナルの「設定シート」へご記載頂いた内容に沿って設定します。なおDBの設計に関するご相談は対象外です。
- 構築範囲は、データベースエンジンとサブネットグループです。パラメーター/オプショングループはデフォルト設定を利用します。
- AWS Backupサービスを利用してRDSのスナップショットを取得します。またオプションメニューの「監視と通知」ではRDSのイベントを監視し管理者様へメール通知します。

## Amazon RDSの設定範囲



## RDSのバックアップとイベント監視



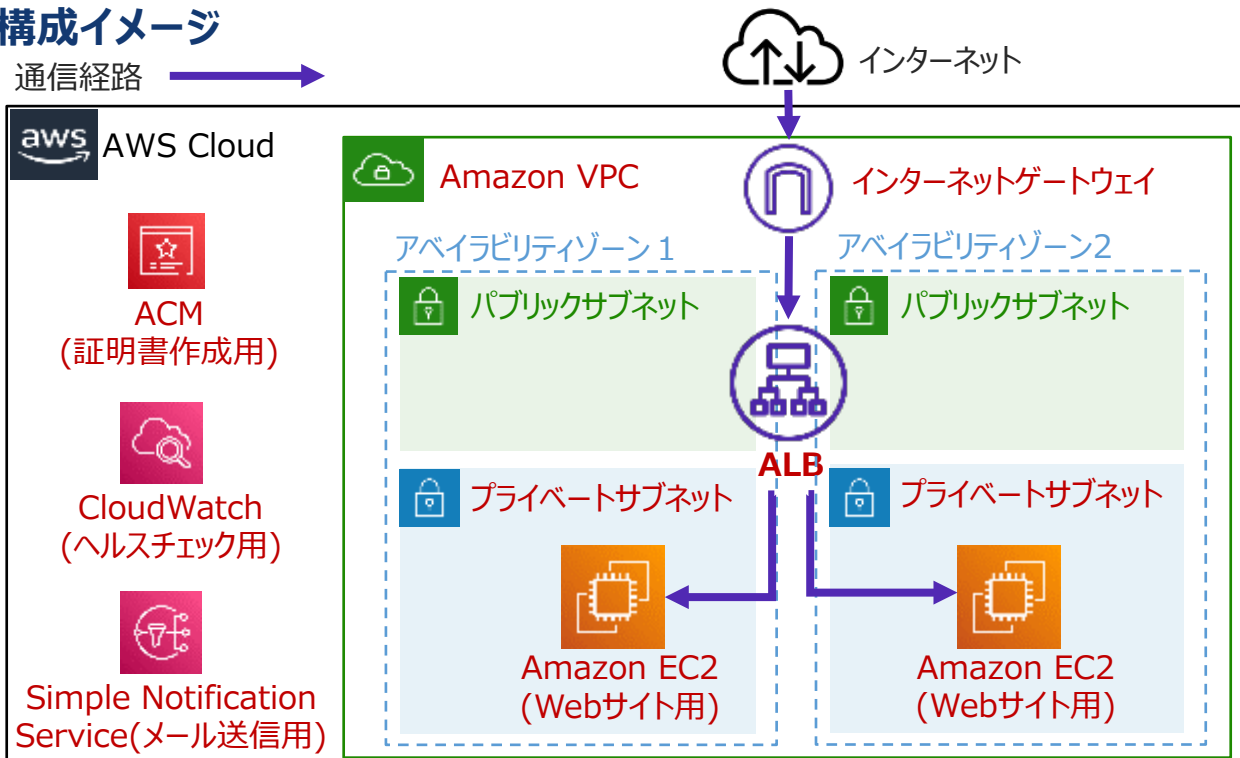
- パラメーターグループについて [https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER\\_WorkingWithParamGroups.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER_WorkingWithParamGroups.html)
- オプショングループについて [https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER\\_WorkingWithOptionGroups.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER_WorkingWithOptionGroups.html)

# ALB (Application Load Balancing)の設定範囲について

- ALBを用いて2つのアベイラビリティゾーンにまたがるWEBサイトを構成することにより、単一障害点の排除とアクセスの負荷分散を実現します。またACMで発行したSSL/TLS 証明書をALBに適応することでHTTPSの通信を提供します。
- Webサイトに対してヘルスチェックを設定するため、構築期間中にお客様にてWebサイトを構築頂く必要がございます。  
※Webサイトの構築期間は2週間程度を想定しています。2週間以上をご希望の方はご相談ください。
- ALBの振り分けルールに関しては、ヒアリングさせて頂いた内容を設定致します。※動作確認は含まれません。

## 構成イメージ

通信経路 →

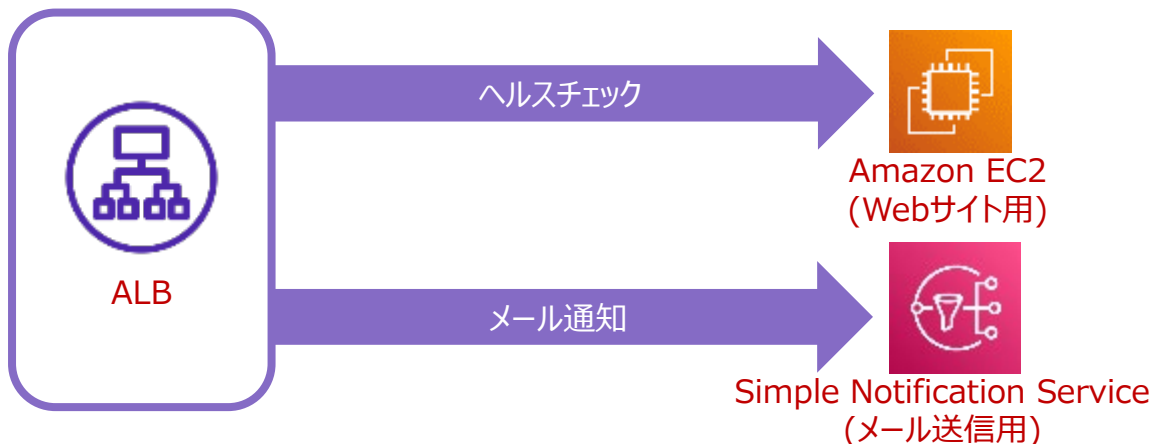


## 構築フローイメージ

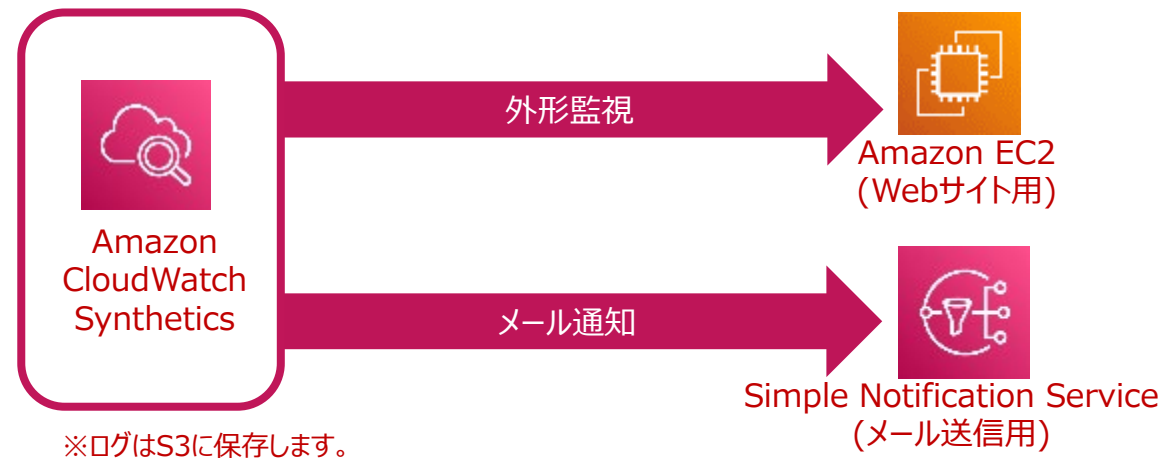


- ヘルスチェックとは、ALBから登録されたターゲット(Webサイト)のステータスをテストするため、定期的にリクエストを送信する機能です。異常時には管理者様へメール通知を実施します。  
※ヘルスチェックの設定はALB追加オプションの作業に含まれます。
- URL監視(外形監視※)はAmazon CloudWatch SyntheticsサービスがAWS Lambdaと連携し、VPCの外部からクライアントのアクションをシミュレートしwebサーバの可用性をモニタリングする機能です。  
※URL監視の設定はオプションの追加メニューです。

## ヘルスチェックサービスイメージ



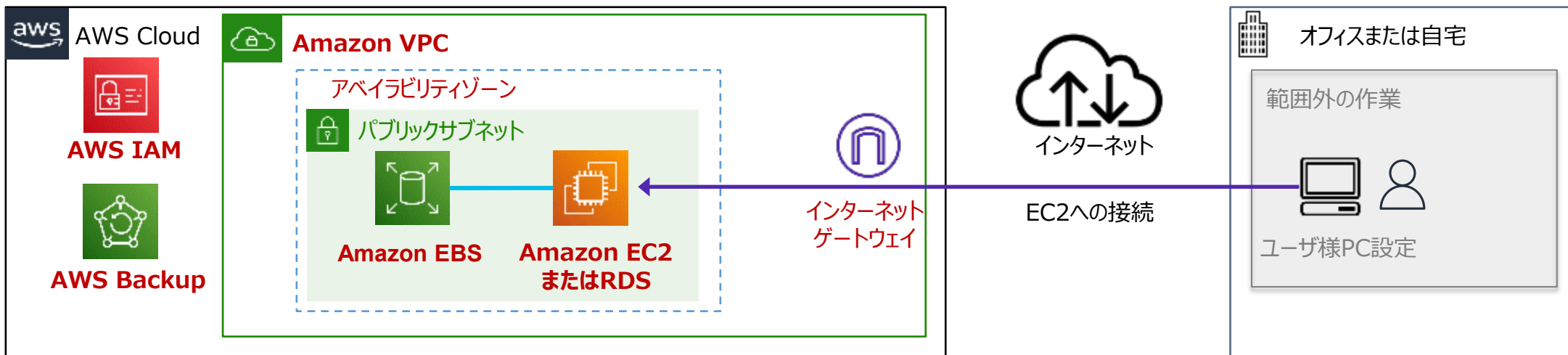
## URL監視(外形監視)サービスイメージ ※オプションメニュー





- アカウント作成、仮想ネットワーク、仮想インスタンス、仮想ストレージ、バックアップのサービスが基本セットに含まれます。
- 基本セットに含まれる仮想インスタンスはEC2またはRDSの1台ですが、オプションで追加することも可能です。

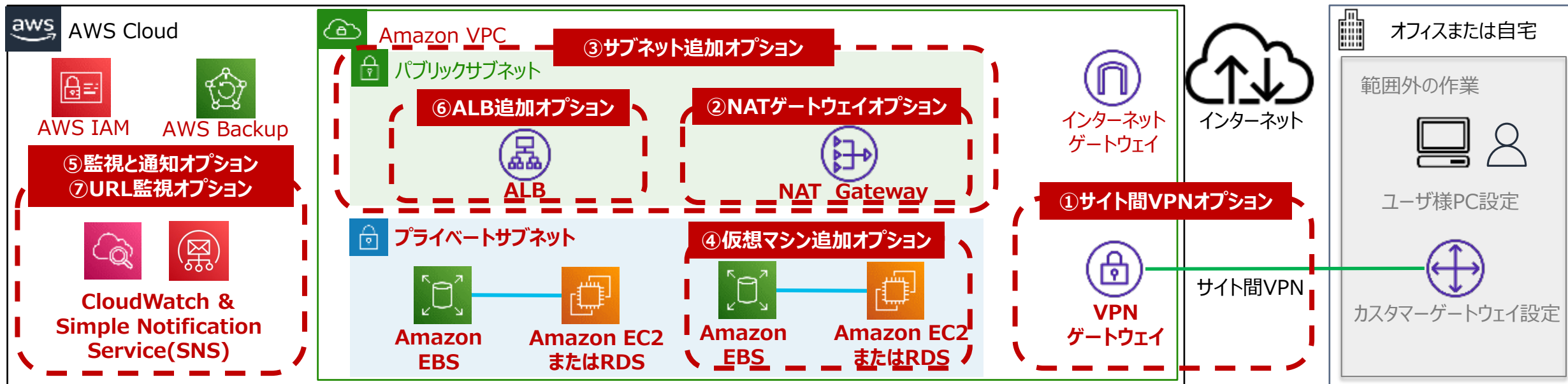
## 構成イメージ(EC2作成)



メニュー	対象サービス	主な役割	設定内容
基本セット ※対象サービスを全て含みます。	AWS IAM	アカウント作成	管理用アカウントの作成
	Amazon VPC	仮想ネットワーク	パブリックまたはプライベートサブネット(1つ)、インターネットゲートウェイ
	Amazon EC2またはRDS	仮想インスタンス	Amazon EC2またはRDSの構築(1台)、セキュリティグループ設定
	Amazon EBS	仮想ストレージ	ボリューム(汎用SSD gp2)の作成、EC2へのアタッチ
	AWS Backup	バックアップ	Amazon EC2またはRDSに対するバックアップのスケジュール設定

# オプションの構築サービスについて

- ご要望に応じて基本セットへの追加が可能です。



メニュー	対象サービス	主な役割	設定範囲
①サイト間VPNオプション	VPNゲートウェイ	サイト間VPN	AWS側のVPN接続設定(オフィス側の設定は含まない) ※1式で5拠点まで対応
②NATゲートウェイオプション	NATゲートウェイ	NAT	パブリックサブネットに1つのNATゲートウェイを追加
③サブネット追加オプション	Amazon VPC追加	仮想ネットワークの拡張	パブリックサブネットまたはプライベートサブネットを追加
④仮想マシン追加オプション	Amazon EC2またはRDS追加	仮想インスタンスの追加	仮想マシンを追加(追加分のEBSとAWS Backup設定を含む)
⑤監視と通知オプション	CloudWatch & SNS	運用管理	Amazon EC2とRDSに対する監視と管理者へのメール通知設定
⑥ALBオプション	ALB & ACM & CloudWatch & SNS	ロードバランサー	ロードバランサーの追加とACMの証明書適用、ヘルスチェックによる異常検知時のメール通知
⑦URL監視オプション	CloudWatch & SNS	URL(Webサイト)監視	URL(Webサイト)監視と異常検知時のメール通知 ※ログはS3に保存

# 価格と購入数について

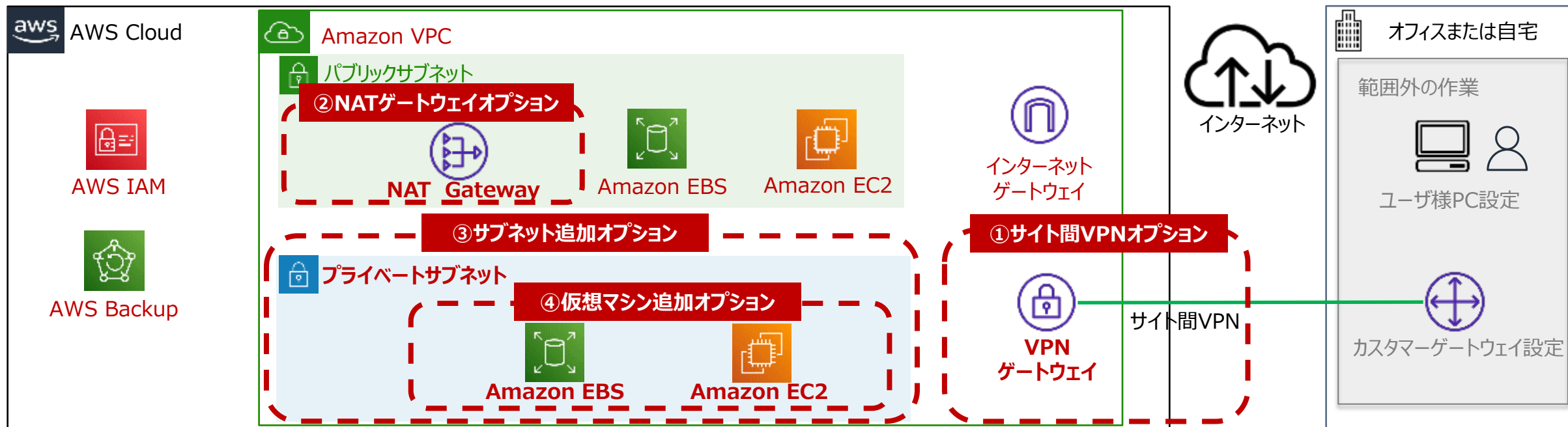
※メニュー範囲外の構築に関しましては、個別にお見積りさせていただきますので、別途ご相談ください。

- 基本セットに必要なオプションメニューを追加ください。 ※最大購入数がございますのでご注意ください。

メニュー	対象サービス	主な役割	設定内容	標準単価 (税別)	最大 購入数
基本セット ※必須	AWS IAM	アカウント作成	管理用アカウントの作成	個別相談	1式まで
	Amazon VPC	仮想ネットワーク	パブリックまたはプライベートサブネット(1つ)、インターネットゲートウェイ		
	Amazon EC2またはRDS	仮想インスタンス	Amazon EC2またはRDSの起動(1台)、セキュリティグループ設定		
	Amazon EBS	仮想ストレージ	ボリューム(汎用SSD gp2)の作成、EC2へのアタッチ		
	AWS Backup	バックアップ	仮想マシンに対するバックアップのスケジュール設定		
	設計支援	構築前のAWS設計支援	ヒアリングシートに基づくお打ち合わせ(Web会議3回まで)		
	環境引継ぎ会	構築後のAWS環境説明	構築したAWS環境についてWeb会議でご説明		
	メールサポート	構築後のメールサポート	2週間のメールサポート(平日9時-17時、ベストエフォート対応)		
	ドキュメント	-	詳細設計書、試験計画書兼報告書		
①サイト間VPNオプション	VPNゲートウェイ	サイト間VPN	AWS側のVPN接続設定(オフィス側の設定は含まない) ※1式で5拠点まで対応	個別相談	2式まで
②NATゲートウェイオプション	NATゲートウェイ	NAT	パブリックサブネットに1つのNATゲートウェイを追加	個別相談	2式まで
③サブネット追加オプション	Amazon VPC追加	仮想ネットワークの拡張	パブリックまたはプライベートサブネットを1つ追加	個別相談	3式まで
④仮想マシン追加オプション	Amazon EC2またはRDS追加	仮想インスタンスの追加	Amazon EC2またはRDSを追加 ※EBSとBackup設定含む	個別相談	3式まで
⑤監視と通知オプション	CloudWatch & SNS	運用管理	Amazon EC2とRDSに対する監視と管理者へのメール通知設定 ※構築した全てのEC2が対象	個別相談	1式まで
⑥ALBオプション	ALB & ACM & CloudWatch & SNS	ロードバランサー	ロードバランサーの追加とACMの証明書適用、ヘルスチェックによる異常検知時のメール通知	個別相談	1式まで
⑦URL監視オプション	CloudWatch & SNS	URL(Webサイト)監視	URL(Webサイト)監視と異常検知時のメール通知 ※ログはS3に保存	個別相談	1式まで

# メニュー構成例 プライベートサブネットを追加しサイト間VPNを行う構成

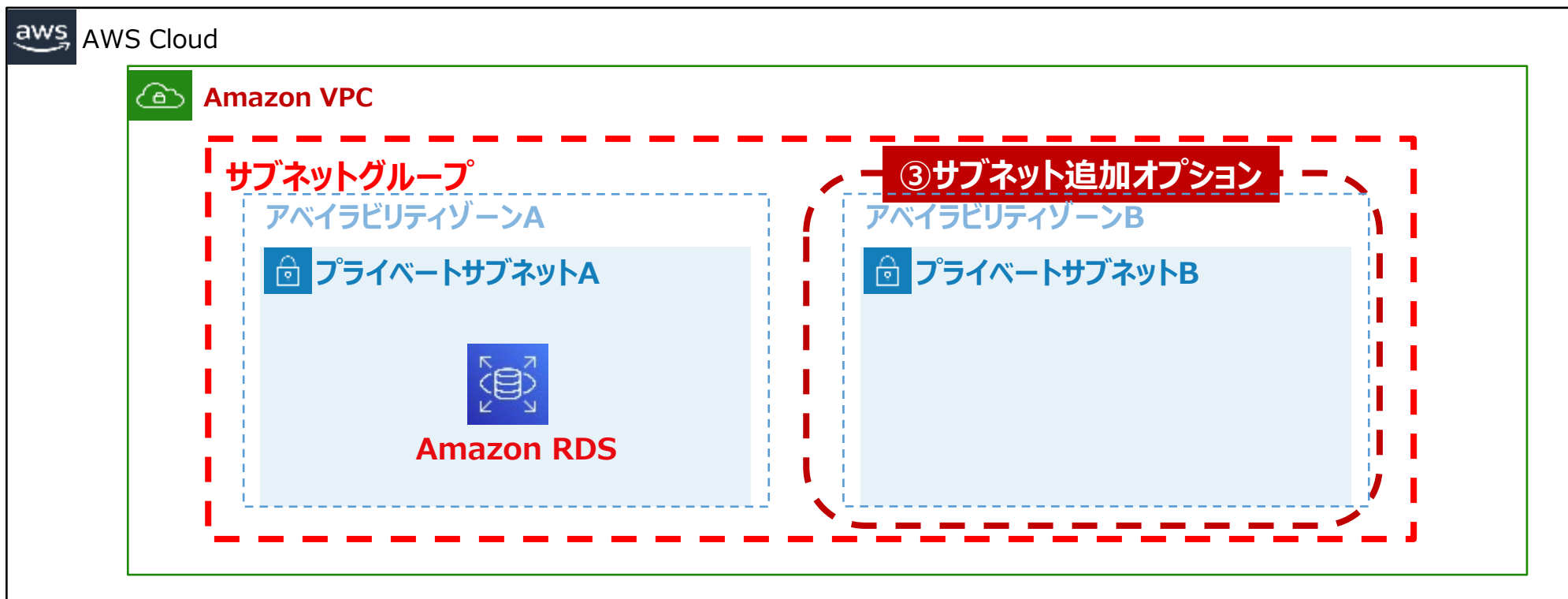
- プライベートサブネットのEC2にもサイト間VPN経由でアクセスするケース（業務アプリやイントラのクラウド移行など）



メニュー	標準単価(税別)	数量	合計金額(税別)
基本セット(AWS IAM、Amazon VPC、Amazon EC2またはRDS、Amazon EBS、AWS Backup)	個別相談	1	個別相談
①サイト間VPNオプション	個別相談	1	個別相談
②NATゲートウェイオプション	個別相談	1	個別相談
③サブネット追加オプション	個別相談	1	個別相談
④仮想マシン追加オプション	個別相談	1	個別相談
			個別相談

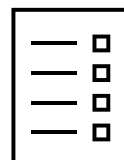
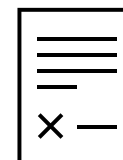
- RDSは2つ以上のサブネットを含むサブネットグループに配置する必要があります。  
※シングルAZ構成の場合も含む
- サブネットを追加する場合は、「③サブネット追加オプション」をご購入頂く必要があります。

## 構成イメージ



## ● 納品ドキュメント

- 詳細設計書 (パラメータシートのとりまとめ)
  - 試験計画書兼報告書
- ※弊社フォーマットでのデータ提供となります。



## ● 操作手順書(付録)

- AWSマネジメントコンソールからの各種操作手順書

※上記の操作手順書を付録(無償)としてお渡し致します。

弊社のAWS環境をベースとした操作手順書となります為、お客様のAWS画面とは異なります。

個別のカスタマイズは実施することはできません。

- **EC2について**
  - ・ 作業範囲はOSインストールまでとなります。OSの設定はお客様にて実施頂く必要がございます。
  - ・ パブリッククラウドの仮想マシンへの管理アクセスは、ご指定頂くグローバルIPアドレスからのみの接続を許可します。
- **RDSについて**
  - ・ 作業範囲はデータベースエンジンとサブネットグループまでとなります。パラメーターグループやオプショングループの設定はお客様にて実施頂く必要がございます。
  - ・ 設定内容は弊社指定の「設定シート」に記載頂いた内容のみとなります。
  - ・ Amazon RDS Custom と マルチAZ DBクラスターの構築は本サービスの対象外です。
  - ・ Oracle Management Agentのインストールや設定はサービス対象外です。
  - ・ MySQLはCloudwatchlogsへのログ出力を依頼される場合、パラメーター/オプショングループへ一部設定を行います。
- **監視と通知オプションについて**
  - ・ 通知は管理者様にメールにて行いますが、メールの通知には管理者様側で許諾の処理を頂く必要がございます。
- **サイト間VPNについて**
  - ・ サイト間VPNでは、オフィス(既存環境)側のカスタマーゲートウェイに固定グローバルIPアドレスが必要となりますのでご注意ください。
- **ALBについて**
  - ・ Webサイトのヘルスチェックを実行するため、構築期間中に販売店様にてWebサイトを構築頂く必要がございます。なおWebサイトの構築期間は2週間程度を想定しています。
- **ACMについて**
  - ・ SSL/TLS証明書発行に際し、DNSへの設定追加が必要になります。設定値と設定方法はご連絡致しますが、お客様にて設定頂く必要がございます。
- **メールサポートについて**
  - ・ サポート範囲はAWS構築範囲となります。またお問い合わせの内容によってはメーカーへエスカレーションさせて頂きます。その場合、ご回答までに数日掛かる場合がございます。
- **全てのお客様へのご注意事項**
  - ・ バックアップからの復元方法は操作手順書をご提示いたしますので本番運用前にテストを実施ください。



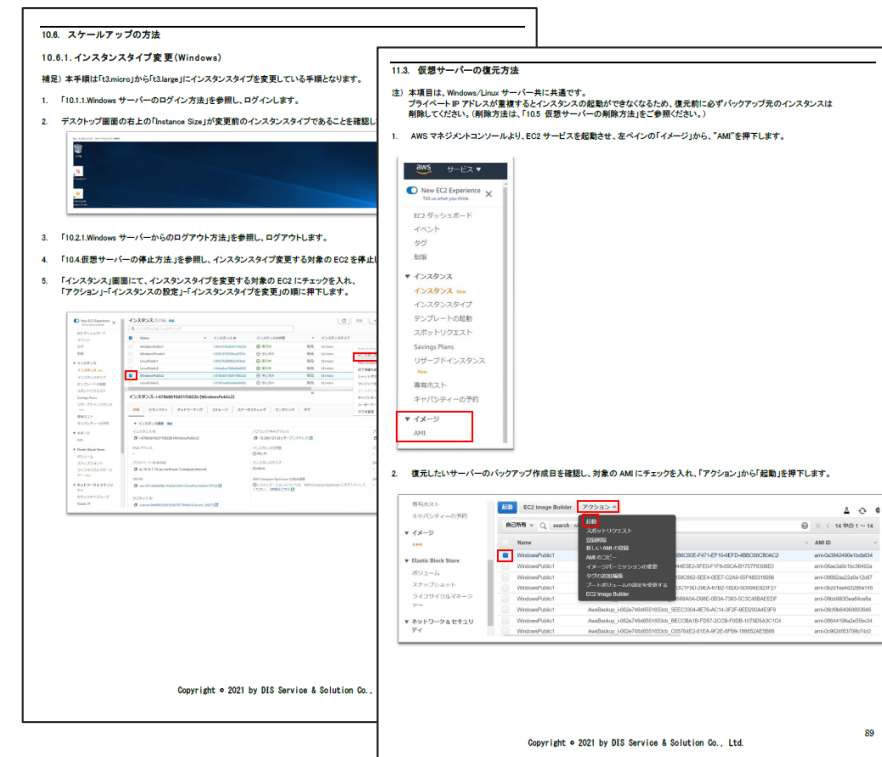
- 本サービスはDISのAWSサービス契約を締結しているお客様が対象です。
- AWS環境を新規に構築する際にご利用頂くことが可能です。
- 本サービス以外の追加要件(構築やドキュメントの追加)に関しましては対応致しかねます。
- オプションメニュー単体での購入はできません。基本セットとの同時購入が必須です。
- 事前打ち合わせおよび設定作業は平日日中帯(すべてリモートにて実施)を前提としております。
- サイト間VPN設定につきましてはAWS側の設定までが弊社作業範囲となります。カスタマーゲートウェイ側のサイト間VPN設定方法などについてのご質問は対応できかねます事をご了承下さい。
- 既存環境からのデータ移行作業やOS以上の設定はメニューの範囲外となり、ご対応できかねます事をご了承下さい。
- 作業期間中にAWS側の機能拡張/設定パラメータ変更などが発生する可能性も御座います。
- AWS側のサービス障害などにより弊社側作業の実施が難しい状況が起きた場合は、各種スケジュールを変更させて頂く可能性も御座います事をご了承下さい。
- 納品フェーズの環境引継ぎ会 (リモート1時間程度)実施後の2週間をフォロー期間としてメールでのお問い合わせに対応いたします(平日 9時～17時のベストエフォート対応)。
- フォロー期間におけるメール対応は、本サービスの構築範囲に限定いたします。
- フォロー期間以降のAWSに関する技術的なご相談やトラブルはメーカー窓口 (AWS技術サポート) にお問い合わせください。





- 構築後のユーザ様の運用をサポートする**全200ページを超えるオリジナルの操作手順書**をご提供いたします。
- AWSマネジメントコンソールのサインイン方法から、仮想インスタンスの管理方法（インスタンスタイプの変更&ストレージの拡張含む）やバックアップからの復元方法についてなど、運用に必要な各種操作手順をキャプチャ画面で解説しております。

目次	
1. 概要	4
1.1. 資料概要	4
1.2. 注意事項	4
1.3. 改定履歴	4
2. 前提条件	5
3. AWS マネジメントコンソールサインイン	6
4. AWS マネジメントコンソールサインアウト	8
5. 別リジョンへの画面遷移方法	10
6. 各 AWS サービスへの画面遷移方法	12
7. IAM グループ作成・削除	14
7.1. IAM グループ作成	14
7.2. IAM グループ削除	17
8. IAM ユーザー作成・削除・パスワード変更	19
8.1. IAM ユーザー作成	19
8.2. IAM ユーザー削除	26
8.3. IAM ユーザーパスワード変更	28
9. AWS 管理ツールのインストール	30
9.1. AWS CLI インストール	30
10. 仮想サーバーの管理	36
10.1. 仮想サーバーのログイン方法	36
10.1.1. Windows サーバーのログイン方法	36
10.1.2. Linux サーバーのログイン方法	43
10.2. 仮想サーバーのログアウト方法	47
10.2.1. Windows サーバーからのログアウト方法	47
10.2.2. Linux サーバーからのログアウト方法	48
10.3. 仮想サーバーの起動方法	49
10.4. 仮想サーバーの停止方法	50
10.5. 仮想サーバーの削除方法	51
10.6. 仮想サーバーの設定変更	54
10.6.1. インスタンスタイプ変更(Windows)	54
10.6.2. インスタンスタイプ変更(Linux)	56
10.6.3. EBS ボリュームの追加(Windows)	58
10.6.4. EBS ボリュームの追加(Linux)	68
10.6.5. EBS ボリュームの容量拡張(Windows)	75
10.6.6. EBS ボリュームの容量拡張(Linux)	81
10.7. 仮想サーバーのステータス確認方法	85
11. 仮想サーバーのバックアップと復元	87
11.1. バックアップの取得状況の確認方法	87
11.2. バックアップからの復元について	88
11.3. 仮想サーバーの復元方法	89
11.4. EBS ボリュームの復元方法	94
11.4.1. EBS ボリュームの復元(Windows)	94
11.4.2. EBS ボリュームの復元(Linux)	106
11.4.3. EBS スナップショットからボリュームの作成(Windows/Linux 共通)	114
11.4.3.1. ファイルの復旧(Windows)	119
11.4.3.2. ファイルの復旧(Linux)	126
11.5. EBS ボリュームの削除方法	129
12. RDS の管理	130
12.1. RDS の起動方法	130
12.2. RDS の停止方法	132
12.3. RDS の再起動方法	135
12.4. RDS の切り替え方法	137
12.5. RDS の削除方法	139
12.6. RDS のログ参照方法	143
12.6.1. RDS のコンソール画面から参照する	143
12.6.2. ダウンロードして参照する	145
12.6.3. CloudWatch から参照する	147
12.7. RDS の設定変更	149
12.7.1. DB インスタンスクラスの変更	149
12.7.2. ストレージの容量拡張	152
12.7.3. ストレージタイプの変更	156
12.7.4. メンテナンス時間の変更	160
13. RDS のバックアップと復元	163
13.1. バックアップの取得状況の確認方法	163
13.2. スナップショットを手動で取得する方法	164
13.3. RDS の復元方法	166
13.3.1. スナップショットからの復元方法(AWS Backup)	167
13.3.2. スナップショットからの復元方法(RDS コンソール)	173
13.3.3. 自動バックアップからの復元方法	178
13.4. RDS の片断障害の動作について	184
14. 監視・通知機能の管理	185
14.1. CloudWatch による監視・通知	185
14.1.1. 通知メールの見方	185
14.1.2. ステータスの確認方法	188
14.1.3. 通知の無効化・有効化	191
14.2. RDS によるイベント通知	196
14.2.1. イベント通知メールの見方	196
14.2.2. イベントの確認方法	197
14.2.3. イベント通知の無効化・有効化	199
14.2.4. イベント通知対象を変更する	203
14.2.5. イベント通知のカテゴリを変更する	206
14.3. 通知先の編集(変更、追加、削除)	209
14.3.1. 通知先の変更	209
14.3.2. 通知先の追加	210
14.3.3. 通知先の削除	214
14.3.4. 承認確認メールの再発行	216
15. トラブルシューティング	219
15.1. AWS 稼働状況確認	219
15.2. 技術サポート問い合わせ方法	220



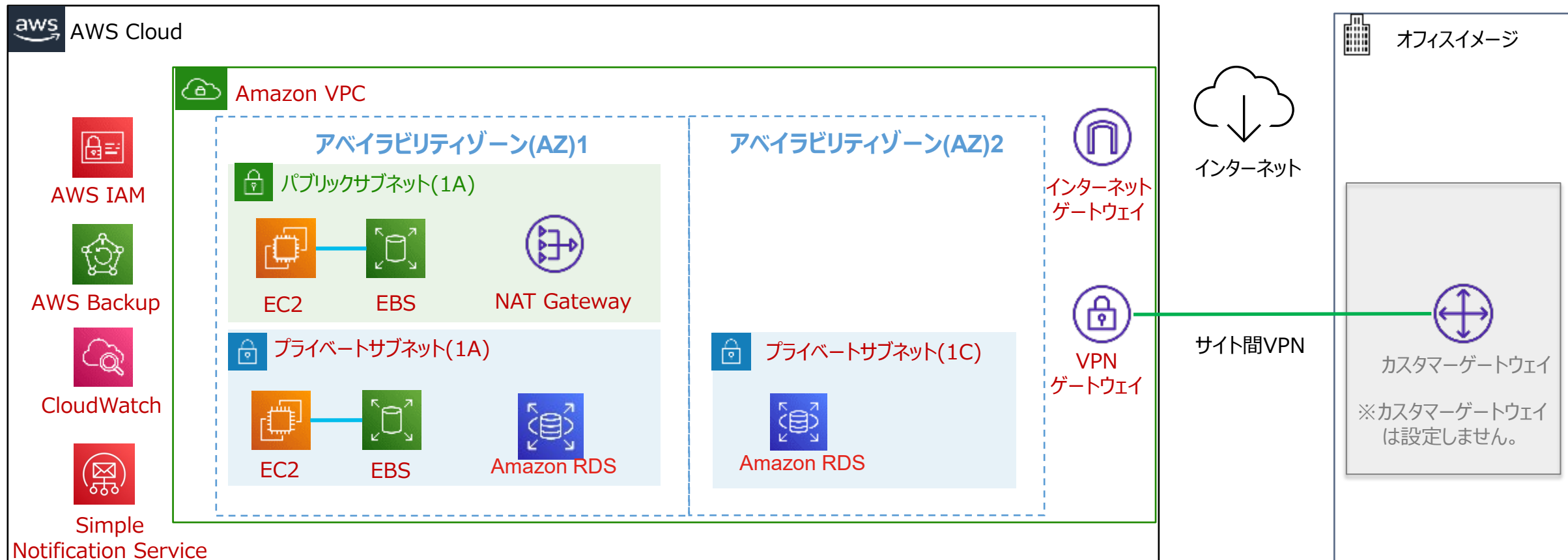
## AWS導入後の運用管理の不安を大幅に軽減！

# AWSスタータートレーニングについて

# AWSスタータートレーニングとは？

- スターターパックをご利用頂いた販売店様にSE向けのトレーニング資料をご提供致します。
- 基本的なAWSサービスの構築スキルを身に付ける為のコンテンツです。
- 自習用コンテンツため、いつでもどこからでもご受講頂けます。

## ハンズオンで構築するAWSアーキテクチャ



- 合計300スライドを超える自習用のコンテンツです。
- マネジメントコンソールの使い方から、アカウント作成、ネットワーク、仮想サーバ、バックアップ、監視、VPN、データベースの構築といった一般的なサービスを網羅しています。
- AWSに馴染みの無い方をターゲットとした各種AWSサービスの紹介スライドの後に、設定手順を詳細に説明したハンズオンスライドが続きます。

目次
1. マネジメントコンソールの使い方
2. AWSのアカウントを作ってみよう
3. ネットワークを作ってみよう
4. 仮想サーバを作ってみよう
5. バックアップを設定してみよう
6. 監視の仕組みを作ってみよう
7. サイト間VPNを設定してみよう
8. データベース (RDS) を作ってみよう
9. その他 (ご参考資料)



**NATゲートウェイについて**

- インターネットにアクセスはしたいが、インターネットからアクセスされたくない(インターネットに公開したくない)場合は、NATゲートウェイを利用します。
- プライベートサブネット内のリソース(図では仮想サーバ)は、プライベートIPアドレスを利用するため、インターネットからアクセスされることはありませんが、NATゲートウェイを利用して自身のアップデートなどの目的でインターネットにアクセスすることができます。
- NATゲートウェイはパブリックサブネットに配置します。



Amazon VPC 東京リージョン 10.0.0.0/16

アベイラビリティゾーン(AZ1)

パブリックサブネット 10.0.1.0/24

NATゲートウェイ

インターネット



**ハンズオン33 RDSの作成 1/12**

Step 1. AWSマネジメントコンソールの検索ボックスに「rds」と入力後、表示された「RDS」サービスを押下します。



Step 2. RDSのコンソール画面、左ペインより「データベース」を押下します。



Amazon RDS

リソース

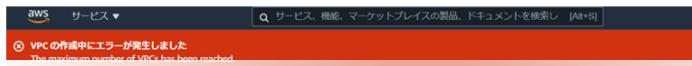
Asia Pacific (Tokyo) リージョンで、以下の Amazon RDS リソースを使用します (使用した数/クォータ)

リソース	クォータ
DB インスタンス (DB40)	1 (サブネットグループ 0)
ストレータ群 (最大 10 / バイト / 100,000 TB)	サブネットグループ 0
DB インスタンス上書き回数 (1日あたり)	カスタム (0 / 100)
リザーブドインスタンス (DB40)	オプショングループ 0
サブネット (サブネット 0)	サブネットグループ 0
サブネット (DB100)	カスタム (0 / 20)
プロキシ	サブネットグループ 0 (0)

- 設計や設定時に必要なポイントを紹介しています。※スライドの図は一部です。

### ハンズオン3 VPCの作成 (ご参考)

リージョン毎に作成できるVPCの数は、デフォルトで「5つ」に制限されています。そのため、上限数を越えるVPCを作成しようとする、以下のようにエラーが発生します。



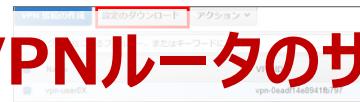
**VPC作成時にエラーメッセージが出たときの対処法**

なお、このままハンズオンを進める場合は暫定対処としてStep 1.に戻り、

### ハンズオン30 VPN接続の作成 (ご参考)


以下の方法にて、VPN接続するカスタマーゲートウェイ用デバイスの設定ファイルをダウンロードすることができます。  
※CiscoSystems社やYamaha社など主要なメーカーのデバイスがサポートされています。

Step 1. 左ペインの「サイト間のVPN接続」にて、使用するVPN接続が選択されている状態で、左上の「設定のダウンロード」を押下します。



**VPNルータのサンプルコンフィグのダウンロード方法**

Step 2. カスタマーゲートウェイの「設定のダウンロード」を押下することで、設定をダウンロードすることが可能です。



### 【ご参考】RDSのバックアップについて

- RDSには「自動バックアップ」と、手動で採取する「スナップショット」の2種類が存在します。
- 「自動バックアップ」はデフォルトで有効となっており、特定時点へ復元することができます。(ポイントインタイムリカバリー)
- 「自動バックアップ」の保持期間には期限があります。(最長35日間) そのため、自動バックアップと併用してスナップショットによる定期的なバックアップをお勧めします。
- 「スナップショット」はバックアップを採取した時点でのイメージに復元することができます。
- 「スナップショット」は、AWS Backupによるスケジュールバックアップが可能です。

**2種類のバックアップの違いと用途について**


	自動バックアップとスナップショット	スナップショット
バックアップ時間	常時オン (5分間隔でトランザクションログを採取)	実行した時間
復元ポイント	保持期間内の任意の時刻 (特定時点)	バックアップを実行した時刻
保持期間	最長35日 (デフォルトで7日間)	無期限
設定方法	RDS作成時に設定 (デフォルトで有効。) 別途変更可能。	手動で毎回実行 (AWS Backupによる定期実行も可能。)

DIS Service & Solution Co., Ltd. 321

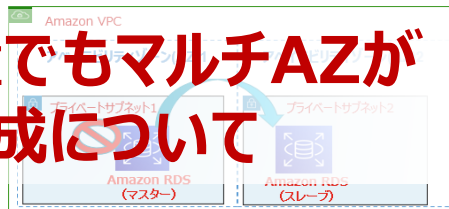
### AWS RDSについて

- RDSはシングルAZ配置、マルチAZ配置が選択できます。
- シングルAZ配置でもマルチAZの環境が必要です。
- マルチAZ配置では本番系 (マスター)、待機系 (スレーブ) 間のデータ同期は自動で行われ、障害発生時には自動でフェイルオーバーされます。

**シングルAZ配置**



**マルチAZ配置**



**シングルAZ配置でもマルチAZが必須な構成について**

VPC内のDBインスタンスの使用  
[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER\\_VPC.WorkingWithRDSInstanceinaVPC.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER_VPC.WorkingWithRDSInstanceinaVPC.html)

障害発生時には自動でフェイルオーバー

DIS Service & Solution Co., Ltd. 280

- トレーニングコンテンツ(資料)の提供は無償です。
- ハンズオンでは販売店様のAWSアカウントを利用する為、ハンズオンで構築したAWS環境の料金は、DiSより別途ご請求させていただきます。**※トレーニング後に不要なサービスは削除ください。**
- 不明点については、AWS環境の引継ぎ会以降の2週間、弊社のエンジニアがメールサポートを提供します。

## トレーニングに必要なもの



AWSログインアカウント情報

※販売店様にてご準備ください

弊社からトレーニング用のアカウント提供はありません

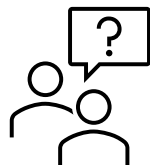


設定用のPC



インターネットアクセス環境

## メールサポートについて



機能や設定に関するご質問



2週間のメール問合せ  
平日 9時～17時のベストエフォート対応



エンジニアによるメールサポート



DIS Service & Solution Co., Ltd.